



外国文献紹介

悪性中大脳動脈梗塞への進展や転帰を予測する臨床的および画像検査上の指標について

Albert AF et al : Clinical and radiological predictors of malignant middle cerebral artery infarction development and outcomes. J Stroke Cerebrovasc Dis 26 : 2671-2679, 2017

筆者らは、中大脳動脈梗塞で入院した 38 例の視神経鞘の直径 (ONSD)、眼球横径 (ETD)、ONSD/ETD 比等を CT 画像から計測し、悪性中大脳動脈梗塞群 19 例、非悪性中大脳動脈梗塞群 19 例について比較検討した。その結果、術前の悪性中大脳動脈梗塞群の ONSD、ETD、ONSD/ETD 比は、非悪性中大脳動脈梗塞群と比べて有意に高い値を示したが、開頭減圧療法施行後、著明な改善が見られた。そして、ONSD が 5.25 mm を超える症例や ONSD/ETD 比が 0.232 を超える症例では、悪性中大脳動脈梗塞に進展するリスクが高いと思われると述べている。

瀬戸一彦